

★落雷・突風事故防止

取組

ポイント1

落雷や突風等の脅威を指導・啓発する。

- 近年、部活動中の落雷や積乱雲からの突風（ガストフロント）によるテントの倒壊により、死者が出るなどの重大事案が全国的に発生している。
- 落雷や突風等、自然の怖さを認識し、危険を予測・回避することの大切さについて児童等や保護者に指導・啓発する。

ポイント2

屋外活動時の留意点について教職員で共通理解し、指導する。

- 屋外での授業、体育大会・文化祭等学校行事、各種競技大会の実施及び開催にあたっては、事前に気象情報を入手する。
- 気象情報を入手する際は、強風や落雷等の警報や注意報等に留意し、発令された際は、参加者の安全確保を最優先する。
- 活動中止の決定権限をもつ者を、事前に特定しておく。さらに、中止決定までの手順をフローチャートにまとめておく。
- 屋外での安全管理体制（本部に危機管理班、指導・監視班、救護班を設置）を明らかにして活動する。
- 大気が不安定なため、竜巻・ガストフロント・雷雨の発生等、急激な天候の変化が予想される場合は、予め、避難方法等について教職員の共通理解を図り、早期に対応する。
- 特に、テント等の設営には十分配慮する。